

2014年8月13日

mail ニュース

No.19 通巻 320

自治労連

都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 高柳 京子

TEL 03-5381-0250

2014年原水爆禁止世界大会開かれる



集团的自衛権行使容認が閣議決定され、国会で武器輸出三原則が改悪されるなど、安倍政権の下で情勢が急速に右傾化しています。欠陥機として話題になったオスプレイが横田や横須賀に飛来し、佐賀県に配備されるということも明らかになっています。

こうした中で8月4日、原水爆禁止世界大会・広島開会総会が開かれ、6500人が参加しました。自治労連都庁職からは支部を含めて17人が参加しました。

8か月後に迫った核不拡散条約（NPT）再検討会議を、核兵器廃絶を実現するための決定的な契機とするためにも大変大事な大会です。

私たちもつないだ、国民平和大行進の通し行進者9人や海外代表者、全国各地で行動する人たちが壇上を埋め、署名活動や来年のNPT代表派遣に向けた決意を語りました。

二日目に参加した「フォーラム」は、来年のNPTに向けて、核兵器の廃絶のために「政府とNGOの対話」をテーマにしており、145人が参加しました。

6日の閉会総会は参加者7000人。アンゲラ・ゲイン国連軍縮問題担当上級代表が国連事務総長のメッセージを読み上げ、「核兵器のない平和で公正な社会を達成するまで努力しよう」と呼びかけました。また、日本原水協の安井事務局長が行動提起を行い、原爆写真展、被爆証言などを広げようと強調、署名を積み上げ、「ニューヨークのNPTに結集しよう」と訴えました。

都庁9条の会「勝手にきめていいの？日本のあり方」

7月1日安倍政権は「集团的自衛権行使容認」を国家の審議もせず勝手に「閣議決定」を行い、日本を「戦争する国」にするためにまい進しています。阻止するためみなさんと奮闘しましょう。

参加費
500円

コカリナ&うた 黒坂黒太郎・矢口周美 お話し 平山知子（弁護士） 「『集团的自衛権』これが本質」

日時 9月10日（水曜日）18:30~20:30 会場 新宿農協会館 8階大会議室